

中学生の「税についての作文」

大川税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

税金のない生活

大川市立大川桐英中学校

三年 田 中 涼 音

みなさんは税金についてどう思いますか？私は以前、税金に関する授業を受け、その中であるビデオを見ました。そのビデオを見たことで、私は税金に関するイメージがとても変わりました。

そのビデオは、「もし税金がなくなったら」という題材でした。もし税金がなくなったら、道路に穴があいたとしても修理ができない・火事が起きたとしても消防車や警察を呼ぶのに時間やお金がかかる・学費が高く、学校に通えない学生が増えるなど、これがもし現実だったらどうなっていただろうと思うことばかりでした。私はそのビデオを見て、家族のことを思い出しました。私の家庭は母子家庭です。また、一般的な家庭よりは貧しいかもしれません。ですが毎日お腹いっぱいご飯を食べて、安心して寝れて、幸せな生活を送っています。それは税金のおかげかなと思いました。今、税金について悩んだり、苦しんだりしている人がいるかもしれません。いろんな税金を義務的に払わなければならぬからです。ですが、税金がなければ、今以上にお金を支払わなければならぬ状況が増えるかもしれません。例えば、通行料の支払い

を求められたり、今税金でまかなわれている教科書の無償化・警察を呼ぶのにもお金がかかるなど、今無料で行われている物のほぼ全部が有料化するのです。

また、世界の消費税の割合を見ると、一番多くてハンガリーの二十七％・二番目に多いのがスウェーデンの二十五％です。それに対して日本は、十％ととても少ないです。消費税が多い国では、環境が良く、子育てをするお母さんにもやさしい国だそうです。ですが、税金が高い・多い・なくしてほしいと思うている国民は少なくないと思うし、そういう考えをなくすべきだと思います。主に、「税金が高い・多い・なくしてほしい」と思っている人は、「自分の生活を支えるために支払うもの」という考え方に変えたらどうでしょうか。税金は私たちの生活にとって「邪馬なもの」ではないということに気づいてほしいと思います。私は税金に対して、「自分や家族・友だち、近所の方の暮らしを安全に、安心できるようにするもの」という考え方になりました。

税金があることで私たちは困ったときに人を呼んだらすぐに駆けつけてくれて、あたり前のように学校に通えて、あたり前のように道路や歩道に車・歩く人がいるんだなと実感しました。税金がなくなったら、今まであたり前のようにできていたことが、できなくなることを忘れずに。大人になってもずっと税金を払い続けようと思います。